



小国中だより

小国町立小国中学校
平成29年12月5日
文責 八木幸夫

LINE・SNS を考える

1年生の学年主任山田昭宏先生が発行する1学年通信「Yamada Denchi」33号（11月24日発行）に次のような記事が掲載されました。

生徒との対話の中で、「Lineで夜遅くまで話していて寝ていないので体調が悪い」、「勉強はしているけどスマホを使いながらだ」、「Lineをそのままにしていたら、ものすごい数のやりとりがあった」など、家でのSNSの使用、特にLineの使用について、私たち教師や保護者が考えている以上に生徒たちの間でかなり長時間使用されている実態が浮かび上がってきています。

先週の学年集会で次のことを生徒に話しました。家庭でのSNSの使用については、子供さんと保護者との約束が前提ではありますが、学校生活にも支障をきたす状況になる場合は、保護者の方とも連携をとり、生徒にも指導していきたいと考えています。

<学年集会で指導した内容>

- ・スマートホンの所持やSNSなどの使用についてお家の人としっかりと約束をし、その約束を守る。
- ・Line等で、他の人の悪口・陰口などのやりとりは行わない。
- ・夜遅くまで起きての使用はしない。寝る時間や学習時間の邪魔になるようなLineの使用は控える。返事を返さなければならない、必ず相手のコメントを見なければならないというものではない。

下校時刻も早くなり、生徒が家庭で生活する時間が多くなります。SNS(Line)の使用については、お家の方の管理のもと、時間を守り、トラブルに巻き込まれることがないようにお願い致します。学校でも生徒の実態を把握し、個別に指導していかなければならないと感じています。保護者の方、お家での使用のことや生徒の様子について何か気になるようなことがございましたら是非ご相談ください。

1年生だけでなく2年生、3年生にも当てはまるところがあります。情報機器を適切に使いSNS、インターネットを上手に使いこなせる力は、これからの時代を生きる子供達には不可欠です。しかし、社会性も判断力もまだまだ未熟な中学生には、大人の適切な援助が必要です。家庭の約束づくりであり、家庭での指導が必要です。ご理解、ご協力をお願いいたします。

学校でもインターネット・SNSの実態調査を行いながら、子供達とより良いSNS、インターネットの活用について指導を継続して参ります。

学校保健委員・PTA 母親委員会研修会

11月30日(木)

11月30日(木)、PTA 母親委員会研修を兼ねた学校保健委員会を実施しました。内容は以下のとおりです。

【 参加者 】

田中丈二さん(学校医) 村上 武さん(学校歯科医) 高橋美和子さん(学校薬剤師)
渡部恵子さん(町健康福祉課) 加藤郁子さん(町教育委員会) 安部康之さん(PTA 会長)
舟山重浩さん(PTA 1年部会長) 後藤 健さん(PTA 2年部会長)
寒河江夕子さん(PTA 母親委員長) 伊藤友子さん(PTA 母親委員) 貝沼佳世子さん(PTA 母親委員)
森 恵美子さん(PTA 母親委員) 小野直美さん(PTA 母親委員) 繁村弘美さん(PTA 母親委員)
八木幸夫 校長 半田俊一 教頭 小国中職員7名

【 講話 】

講師 臨床心理士 佐藤恭子 氏 演題 「思春期の子どもとの関わり方」

小学生の時のように、親の言う通りに動いてはくれないし、話し方もぶっきらぼうになったり……。感情の起伏が大きく、気むずかしくなったり、思春期を迎えた子供達との関わり方は難しいところがあります。そんな思春期の中学生を心理学や脳科学の見地から理解し、大人がどのように関わっていくことで、より良く自立を支援していくことができるのか、佐藤先生が関わられた多くの例からお話をいただきました。ユーモアを交えながらのお話には、参会してくださった皆さんは興味深く聞いてくださいました。『もっと多くの保護者の皆さんに聞いてもらえれば良かった』という声も聞かれました。

傘が見えなくなりました

2学期の学校評価のアンケートを実施しています。評価にご協力いただきありがとうございます。現在アンケート結果を集計しております。12月6日(水)まで提出をお願いしております。まだ、ご提出いただいていない場合は、提出よろしく願います。

さて、お寄せいただいたアンケートの中に、「学校にさして行って、傘たてに立っていた傘が、何回かなくなっていた。」という報告をいただきました。取り違えによる持ち帰りや、つい拝借……。ということだと思われそうです。傘が見えなくなってしまった人はどんな気持ちだったのでしょうか。心が痛みます。学校の管理が行き届かなかったことをお詫びいたします。

全校集会で、傘の持ち帰りや記名等について指導しました。傘の管理の在り方については、再検討していきます。



小国中だより

小国町立小国中学校

平成29年12月7日

文責 八木幸夫

心を育む給食週間

仲間と共に楽しく給食を食べることをとおして、『食』が『いのち』を育む基本であることを学び、食に関わる人や食材に感謝する心や他を思いやる心を育むことを目的に12月4日から12月8日（金）まで、心を育む給食週間を実施しています。この週間中、給食委員会（齋藤洗太委員長）を中心とした生徒活動、母親委員会を中心としたPTA活動が計画、実施されています。

給食試食会 12月4日（月） PTA 母親委員会主催

【参加者】 後藤正志さん 舟山重浩さん 遠藤 愛さん 寒河江夕子さん
小野直美さん 伊藤友子さん 齋藤晴香さん 繁村弘美さん

【試食献立】 ご飯 鮭の塩焼き 白菜の煮びたし 吉野汁

* 鶴岡市で県内初の学校給食が実施されたときの再現メニューだそうです。

* ご飯は「小国町産はえぬき」と以前の給食で提供された「雪若丸」を食べ比べていただきました。

【参加者の声】

- 塩加減が薄いので健康に良いと思いました。全体の量も適度で十分と思う。
- ご飯の給食は最高です。
- おいしいと思います。
- 雪若丸も食べさせていただきありがとうございました。初めていただき感激しました。
- 鶴岡で初めて出されたメニューとお聞きしました。今では当たり前の給食ですが、このようになるまでには、おそらくいろいろな人々の様々なご苦労があったと思います。今日はありがとうございました。おいしかったです。
- 雪若丸おいしかったです。全体的に味はやさしい味で、我が家に比べてみると、うちは味が濃いので、少し味を薄めに心がけたいです。
- バランスの良い食事でした。雪若丸も初めていただきました。子ども達も新しい銘柄を給食でいただけて嬉しかったと思います。家での会話も弾みました。鮭が少ししょっぱかったような気がしました。全体的にはとてもおいしかったです。ありがとうございました。
- 事前にお話があったように、里芋が固めでした。味は私にはちょうど良かったです。雪若丸とはえぬきの食べ比べもさせていただき味の違いがわかりありがたかったです。おいしくいただきました。ごちそうさまでした。
- とてもおいしくいただきました。話しながら食べると、子供達は時間内に食べきるのは難しいと思いました。

【裏面に続きます。】

〇おいしくいただきました。ごちそうさまでした。ゆっくり食べる時間がないのは少しかわいそうな気がしますが、栄養バランスのとれた温かい給食がいただける子供達は幸せだと思います。

*試食会への参加ありがとうございました。いただいた感想は給食の運営に生かしていきます。

参会された保護者の皆さんと楽しく会食させていただきました。母親目線からの給食に対する意見、自分の経験に根ざした食へのこだわり等学ばせていただきました。母親パワー、主婦パワーにあらためて脱帽です。

紙芝居発表「二人のユースケ」 12月5日(火) 生徒会給食委員会



生徒会給食委員会では、プロジェクターを使った拡大画像で紙芝居「二人のユースケ」を発表しました。小学生のユースケのもとに、20年後大人になった未来のユースケが現れ、子どもの頃の食生活が大人になってからの健康にも大きな影響があると伝えるストーリーでした。栄養のバランスや不足しがちなカルシウムについても教えてくれました。

司会をつとめた齋藤洸太君、紙芝居を読んでもくれた坂上太一君、須貝真琴君、平山暖人君、岡帆乃花さん、石塚愛さんに、全校生から大きな拍手が贈られました。

給食委員会では、昼の校内放送で「給食クイズ」、「正しい食事マナー紹介」、を行うほか、自分の食生活を振り返ってのチェックカードの記入、「調理場、たいようパンさんへの感謝カード」の作成を行う計画です。

*「二人のユースケ」の発表はぜひ保護者の皆さんにもご覧いただきかったです。発表の途中に行われた「不足しがちな栄養は何だと思いますか?」という質問に、伊藤紳吾君が「カルシウム!」と正解を答え、拍手を受けたのも良かったです。

ご協力ありがとうございました **赤い羽根共同募金**

生徒会が取り組んだ赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。募金活動の結果下記の金額をご協力いただきました。

11,935円

今回は、生徒会執行部が主催して、各学級で、募金の目的や使い道などについての事前学習を行っての活動を展開してくれました。意義を理解することは大切なことです。活動を組織した生徒会執行部のクリーンヒットです。





小国中だより

小国町立小国中学校
平成29年12月8日
文責 八木幸夫

選挙運動スタート

平成30年度

生徒会役員選挙立候補者および責任者 【敬称省略】

役職名	立候補者名		責任者名	
生徒会長	杉山 綾汰	(2-3)	前田 大翔	(2-1)
副会長(現2年)	舟山 温人	(2-1)	貝沼 拓海	(2-1)
副会長(現1年)	渡部 瑠夏	(1-1)	渡部 康介	(1-1)
議長	保科 紅華	(2-2)	伊藤 美佳	(2-2)
副議長(現2年)	仁科 悟	(2-3)	伊藤 輝	(2-3)
副議長(現1年)	伊藤 未結	(1-1)	青木 蒼空	(1-1)
事務局長	益田 凌汰	(2-1)	佐藤 拓	(2-1)
応援団長	齋藤 翔生	(2-3)	齋藤 勇斗	(2-3)
生活委員長	齋藤 星奈	(2-3)	永井 皓理	(2-3)
文化委員長	大久保南美	(2-2)	齋藤 和花	(2-2)
体育委員長	齋藤 詩音	(2-3)	齋藤 愛花	(2-1)
図書委員長	寒河江 凜	(2-2)	金 里花子	(2-1)
放送委員長	伊藤 玲奈	(2-3)	小池 真美	(2-2)
保健委員長	舟山 若葉	(2-1)	舟山紗和子	(2-2)
美化委員長	横山 康生	(2-3)	佐藤 健成	(2-3)
給食委員長	石塚 愛	(2-1)	高橋亜佑那	(2-1)

平成30年度生徒会役員選挙の立候補が締め切れ、選挙運動がスタートしました。朝から生徒昇降口には、立候補者と責任者の元気なあいさつが響いています。覚悟と決意を持って生徒会役員に立候補してくれた皆さんのやる気と勇気をたたえます。昼の校内放送では責任者による応援演説が行われています。候補者、責任者が協力して、選挙運動がしっかり行われています。頼もしい限りです。

涙がこぼれました・・・。 2年生有志合唱



「校長先生、有志の合唱練習を聞きに来ませんか。」、音楽担当の新野 忍先生からお誘いを受けました。毎週金曜日の昼休み、2年生が自分たちで集まって、合唱する取り組みです。歌っているのは名曲「時の旅人」です。

給食を食べて、音楽室に行くと10名ほどの生徒がCDに合わせて歌っていました。時間の経過と共に、生徒が少しずつ増えていき、最後には50人を超える生徒達が集まったの合唱となりました。

私も知っている曲でしたので、口ずさんでいると、目頭が熱くなって、涙がこぼれました。もちろん元気の良い、素晴らしい合唱でしたから、合唱そのものに感動したこともあります。でもそれ以上に、自分たちで集まり、明るく歌う生徒達の姿が輝いて見えて、嬉しかったのです。

2年生は今生徒会選挙に取り組んでいます。また、学年自治会の工夫を凝らしたあいさつの取り組みも始まろうとしています。頼もしく、嬉しく思っています。



3年1組の保護者の皆様へ お詫びしお願い申し上げます

12月8日（金）の給食に「ビビンバ丼」が提供されましたが、3年1組で具材として準備されていた「挽き肉そぼろ」を配膳しないでしまいました。調理場から、具材がそのまま返却されてきたきたという連絡があり、気づいたところです。コンテナから具材の入ったバットを運ばないでしまいました。献立表の確認、コンテナ内の確認が不十分であったことが理由です。お詫び申し上げます。

給食指導について確認し、再発のないよう全職員に指導いたしました。具材は「挽き肉そぼろ」であることから、処分するしかありませんでした。ご理解いただきますようお願い申し上げます。



小国中だより

小国町立小国中学校

平成29年12月15日

文責 八木幸夫

小国中の体力作り

本校では、教科授業で行われる保健体育の授業（各学年1週間に3時間実施）のほかに、QaterTtraining(クオータートレーニング:Qトレ)を行って体力作りを進めています。Qトレは、清掃を全校の半数の生徒で行い、残りの半数の生徒が清掃の時間15分間で行う体力作りの活動です。春、夏、秋は走力をつけることを目的に、本校グラウンドをスタートして小国小学校のランニングコースを走り、またグラウンドに戻る約1.2kmのコースのランニングを基本に取り組みました。雨天時や冬季は、体育館で、ダッシュ走や数種類のジャンプ、スクワット、手押し車等を組み合わせたトレーニングを行っています。

走力を中心に体力、運動能力の向上が本校の課題の1つとなっており、Qトレはその課題解決に向けた本校独自の体力作りの取り組みです。

今年度の、全体としての取り組みの成果は来年度春のスポーツテストの結果を待たなければなりません。今年度春実施したスポーツテストの結果からスポーツテスト各種目毎の優秀者が一貫教育推進協議会から表彰を受けました。

スポーツテスト優秀記録者

【敬称省略】

【握力】

齋藤兼信（2年） 小林美嶺（3年）

【上体起こし】

伊藤颯斗（2年） 高野瑚々亜（2年）

【長座体前屈】

小林聖生（3年） 伊藤玲奈（2年）

【反復横跳び】

村田直優（3年） 高橋絢香（3年）

【シャトルラン】

今 宏太（3年） 舟山若葉（2年）

【50m走】

杉山綾汰（2年） 永井皓理（2年）

【立ち幅跳び】

吉田健人（3年） 高橋絢香（3年）

【ハンドボール投げ】

小林聖生（3年） 伊藤心音（1年）

【1500m】

今 宏太（3年） 永井皓理（2年）



進路情報 3 推薦入学希望者の面談

私立高校の入試では、1月下旬から2月上旬の一般入試に先立って、中学校長の推薦による推薦入試が行われています。推薦入試での受験を希望する生徒には、その学校を志望する理由、中学校生活で努力して取り組んできたこと、生徒の希望に対する保護者の考えなどをまとめた推薦願いを提出してもらいます。れに基づき、進路指導委員会（教頭、教務主任、学年主任、3年担任）での話し合いを行い、校長が推薦の可否を判断することになっています。

今年度は、12月7日（木）、8日（金）、校長が希望した生徒全員と、志望の動機、保護者の考え、進路への意志確認等を行う面談を実施しました。それぞれの生徒が、家族の理解を得て、しっかりとした目標をもって志願していることを確認することができました。希望進路に向けて強い意志で入試に向けて努力して欲しいと思います。また、面談した生徒には次の3点を特に話をしました。

- 1 私立高校で学ぶと言うことは、経済的な面、早朝の弁当づくり、送迎など様々な面で家族に負担をかけることになる。その負担を家族は強い決意と覚悟で受け止めてくれる。家族への感謝を忘れず、強い決意と覚悟を持って入試に立ち向かい、高校生活を送って欲しい。
- 2 校長推薦で受験することは、小国中学校とその卒業生、後輩達に対しても責任が生まれることである。その責任を自覚して欲しい。
- 3 結果は努力の後についてくる。自分自身に自信を持ち、努力することを忘れないで欲しい。

推薦入試に限らず、高校や専修学校への進学には、家庭への大きな負担が伴います。家族の決意と覚悟に基づいた、温かいサポートを受けて進学することができることを繰り返し伝えていく必要があると考えています。

叶水の基督教独立学園高校の入試に、本校から男子生徒1名が志願し、入試に挑戦しました。無事合格通知をいただいたところです。おめでとうございます。

3年生の学習に向かう姿勢がしまってきました。期末テスト終了後に、数学の補充に追試を自ら希望して取り組んだり、先生方に質問に来るなど積極的な姿が見られます。1、2年生は、今の学習が1年後、2年後に迎える進路選択に直結していることを改めて確認し、「やるべきことは何があってもやる。」強い意志で学習に取り組んで欲しいと思います。

小国中生の活躍

第67回 社会を明るくする運動作文・標語コンテスト

【作文中学校の部】

優秀賞 1年 和田彩日香 優良賞 2年 保科紅華 3年 舟山未羽

【標語中学校の部】

優良賞 1年 青木蒼空 2年 杉山綾汰 3年 吉田健人

ダリヤ杯中学校バレーボール大会

女子の部 第3位





小国中だより

小国町立小国中学校
平成29年12月19日
文責 八木幸夫

生徒会新役員決定

平成30年度

生徒会役員選挙当選者 【敬称省略】

役職名	立候補者名	
生徒会長	杉山 綾汰	(2-3)
副会長(現2年)	舟山 温人	(2-1)
副会長(現1年)	渡部 瑠夏	(1-1)
議長	保科 紅華	(2-2)
副議長(現2年)	仁科 悟	(2-3)
副議長(現1年)	伊藤 未結	(1-1)
事務局長	益田 凌汰	(2-1)
応援団長	齋藤 翔生	(2-3)
生活委員長	齋藤 星奈	(2-3)
文化委員長	大久保南美	(2-2)
体育委員長	齋藤 詩音	(2-3)
図書委員長	寒河江 凜	(2-2)
放送委員長	伊藤 玲奈	(2-3)
保健委員長	舟山 若葉	(2-1)
美化委員長	横山 康生	(2-3)
給食委員長	石塚 愛	(2-1)



平成30年度生徒会役員選挙立ち会い演説会が行われ、その後、投票、開票が行われました。その結果、立候補者全員の信任が確定し、平成30年度小国中学校生徒会役員が決定しました。やる気と覚悟が感じられる演説を頼もしく感じました。また、質問に立った3年生からは、あたたかい激励の言葉も贈られ、候補者達はさらに決意を新たにしました。任期は来年4月からとなりますが、3年生と協力しての活動が早速始まります。

進路情報4 県立小国高等学校 連携型入学者選抜

本校から、県立小国高等学校を志願する場合、小中高一貫教育を実施していることから、連携型入学者選抜という特殊な入試が行われています。

(1) 小国高校志願資格

連携型中高一貫教育の中学校に在籍している者が小国高校を志願する場合は、やむを得ない事情がある場合を除き、中高一貫教育における連携型入学者選抜とする。

(2) 選抜試験の内容

①英語による面接3分程度（自己紹介及び英問英答）

②「学習のまとめ」の発表（5分程度）並びに面接（10分程度）合わせて15分

*「学習のまとめ」は中学3年時に取り組んだ白い森学習（地域学習）のまとめのレポートです。発表は、まとめのレポートについて、パワーポイント等コンピューターを使つてのプレゼンテーション・説明を行います。

*面接では、「学習のまとめ」の発表内容についての質問、志望の動機や将来の進路希望等について行われます。

(3) 試験日 平成30年2月6日（火）

*連携型入学者選抜に向けて、3年生は「学習のまとめ」のレポートづくりや英語の面接練習などに取り組んでいます。



12月15日（金）、小国高生を招いて、小国高校の活動発表会を本校で行いました。小国高校1年生の地域文化学の発表がありましたが、地域文化学は小中学校での白い森学習（地域学習）を発展させたものです。一貫教育の柱として位置づけられる、地域学習、情報教育の成果が入試で試され、高校にも引き継がれていきます。

小国中生の活躍

高円宮杯第29回全日本ユース（U-15）サッカー選手権山形県大会 長井ユナイテッドサッカークラブ



本校には長井ユナイテッドサッカークラブに所属してサッカーに取り組んでいる生徒が現在6名います。家族の理解とサポートをうけ、他校の生徒とともに練習に励んでいます。

長井ユナイテッドサッカークラブは上記の大会で優勝し、東北大会に駒を勧めました。本校の瀬齋駿登君（3年）はディフェンスの要となるセンターバックとして出場し、チームの勝利に貢献

しました。佐貝 誠君（1年）もエントリー選手として参加しました。